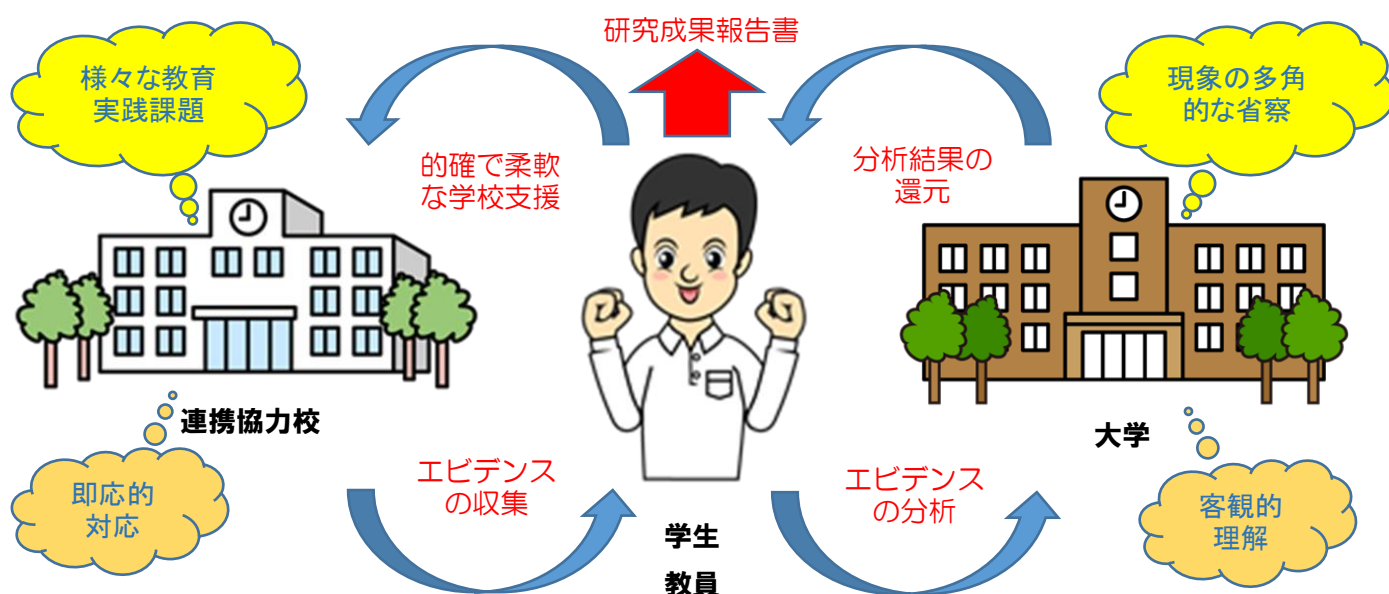


エビデンスに基づく 学校支援プロジェクト

「発達と教育連携」領域では、学校教育現場で起こっている様々な出来事を「事実」として客観的に調査し、収集したデータをエビデンス(根拠)として分析し、分析結果を学校現場に還元することにより、実践者の「勘」だけに頼らない、より幅広い視野からの確で柔軟な学校支援を企てることをめざします。もちろん学校支援は先生方の仕事を最優先します。

アンケートや観察・インタビューなどの実地調査を行うだけでなく、学校で保管されている様々な研究報告書や既存データを再分析したり、学校や校区的関係資料を発掘したりすることにより、多角的な観点から学校現場の現状や課題を省察し、教育実践に寄与したいと考えます。また、その結果を研究成果報告書にまとめて発表します。



たとえば、次のようなプロジェクトを学校と協力して行うことができます。

- ・ 学力状況や学校評価に関するデータ分析
- ・ 学校や家庭の社会環境に関する調査分析
- ・ 学校での実践的課題に関するフィールドワーク
- ・ 教室内の教師・生徒の相互作用分析
- ・ 外国につながる子どもたちの理解と支援
- ・ 過去の研究報告書や既存データの分析
- ・ 先進的な教育実践を行う事例の調査と紹介
- ・ 地域との連携に関わるニーズの把握
- ・ 校区的地域教育資源に関する調査
- ・ 危険や災害に関する調査とマップ作り などなど

教育経営プロフェッショナル育成プログラム

発達と教育連携領域には、教育経営プロフェッショナル育成プログラムがあります。このプログラムでは未来の教育を構想し、その創造に向けた「マネジメント」について徹底して追究し、魅力ある管理職・専門職の育成を行います。また、**現職教員による教育経営、学校経営全般を意識した学校支援フィールドワーク**を行います。

担当予定教員

- 菅原 至(すがわら いたる:教育経営学)
教職員の協働、教育組織マネジメント、カリキュラム・マネジメント
- 大前敦巳(おおまえ あつみ:教育社会学)
教育調査分析、学校社会連携、比較教育
- 安藤知子(あんどう ともこ:学校経営学)、
学校の業務改善、特色づくり、校内研修の活性化、コミュニティ・スクールの運営
- 堀 健志(ほり たけし:教育社会学)
行為の意図せざる結果・ジレンマ、社会的排除、再帰的コミットメント
- 辻村貴洋(つじむら たかひろ:教育行政学)
教育資源の発見・発掘、異校種間連携・地域学校協働活動の体制整備
- 原 瑞穂(はら みずほ:社会言語学)
日本語教育、グローバル教育、多言語多文化共生
- 蜂須賀洋一(はちすか よういち:教育法学)
学校関係の裁判事例分析、学校安全や生徒指導、人権教育、人権教育研修